

Indonesia Weekly

2021年12月20日



(対象期間：2021/12/13～2021/12/17)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2021年12月17日)



【株式市場】

週初は新たな材料に欠ける中、高値圏でもみ合いとなりました。その後は新型コロナウイルスの新変異株、オミクロン株への警戒感や米連邦公開市場委員会（FOMC）を前に利益確定売りなどが見られ、不動産、銀行、ハイテク株などを中心に上値の重い展開となりました。16日はインドネシアで初のオミクロン株が確認されたとの報道を受けて下落しました。インドネシア株式市場は前週末比下落しました。

| 2021/12/10 | 2021/12/17 | 変化率 |
|------------|------------|--------|
| 6,652.92 | 6,601.93 | -0.77% |

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2021年12月17日)



【債券市場】

週初はFOMCやインドネシア中央銀行（BI）の金融政策決定会合などへの警戒感から利回りは上昇傾向（価格は下落）となりました。16日、BIは政策金利を据え置きましたが、BI総裁は決定会合後の会見でこれまでの「成長促進」から「安定促進」へ転換する姿勢を示しました。一方で、BI総裁は米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げはBIの利上げと同じではないとも述べ、今後の政策決定については、成長回復やインフレなどの国内要因に基づいて最終的に決定すると繰り返しました。BIの政策決定後、債券利回りはさらに上昇しました。10年国債利回りは前週末比上昇しました。

| 2021/12/10 | 2021/12/17 | 変化幅 |
|------------|------------|--------|
| 6.314 | 6.434 | +0.120 |

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2021年12月17日)



【為替市場】

FOMC及びBIの政策決定会合を前に週初から上値の重い展開となりました。財務省が2022年度の財政赤字見通しを縮小したことはやや好感されましたが、FOMCへの警戒感から影響は限定的でした。FOMCの決定後に行われたBIの政策決定会合でBI総裁はオミクロン株の感染拡大への懸念と、FOMCの結果に触れ、通貨の安定はインドネシア経済にとって最も重要な要素であると強調し、通貨ルピアの安定性のための措置は躊躇しないと述べました。ルピアは対米ドルでは前週末比ほぼ変わらず、対円では下落しました。

| 2021/12/10 | 2021/12/17 | 変化率 |
|------------|------------|--------|
| 0.7914 | 0.7907 | -0.09% |

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ